

海についての説明

最近の海への入会希望者からいただきました、多方面にわたる質問内容を踏まえ、「海についての説明」を下記のとおり作成してみました。

参考にしていただけたら、幸いです。

なお、これは「海」についての説明でありますので、他の同人誌の方針や考え方は当然のように異なることとなります。他の同人誌への入会をお考えの場合は、当該誌へお尋ねいただきますようお願いいたします。

また、海以外の同人誌の関係者には、「同人誌とはこんなものではない」という御意見が大いにあるかと思われまふ。この項は、あくまで「海」に限った説明でありますので、御不審の点等があるやもしれませんが、なにとぞ御海容に願ひ上げます。

2016年5月1日

有森信二

海についての説明（〇〇氏へ）

注：内容は有森の私見です。

2015. 12. 31 記

(2013. 11 記、2011. 11 記、2013. 4. 29 記、2014. 1. 31 記、2015. 12. 31 記を修正)

初めまして。海の有森信二という者です。

私は編集・発行責任者という立場にあります。言うなれば、海の作業方の一人としてある者です。お尋ねのありました海について、簡単に説明します。

1 同人誌とは

まず同人誌とは、（海は文芸の同人誌ですので）「**文芸作品を書こうという志を同じくする者が、自らの経費を負担し、自らの目指す文芸作品を生み出す**」というものだろうと思います。

ここには、「文芸誌の作品が評者の目に止まり、職業作家へと転身する」という道が閉ざされたわけではありませんが、現在の厳しい世情や現状を見ると、「同人誌作家から職業作家への転身は、特別の場合を除き、あまり期待できないことだろう」と思えます。（※）

とはいえ、同人誌作家も、れっきとした作家です。世にもてはやされている作家同様、志は高いものがあると言っても過言ではありません。

同人誌作家であるためには、経費を自ら負担してまで書くということになりますので、「**定職を持ち**」（意外と大切です）、「**自らの目指すものを書き続ける**」（続けるということが大切です）という形が、望ましいものと思われます。

※ 2013. 4 「日本文学振興会が、同人誌から、芥川賞・直木賞のノミネートのための推薦を受け付ける」ということになりました。

2 同人誌が成り立つ基本となるもの

先に書いたように、1) 自ら経費を払ってでも、「文芸作品を書こうとする確たる意識」を持っていること、2) 自らの「応分の経費は必ず負担する」こと、3) 所属する同人誌のメンバーとの良好な関係が保てること、という要件がどうしても必要になります。

繰り返しますが、発表するための（妥当なレベルの）文芸作品が書け、応分の経費を負担する、という約束が得られなければなりません。同人誌の印刷、発行、送付、通信等のために、この経費の全てを用いることになります。

3 海について

1) 海は、現在第二期に入っており、年に2回の発行をしています。

同人費は、**1回の発行に「12,000円（同人の基本負担額）+10頁を超過の場合は1頁につき1,000円加算（超過執筆額）」**となっています。

小説の場合の1頁は、「27字×25行×2段→1,350字：400字詰め約3.3枚」ですので、60枚程度まで（20頁程度）は、12,000円+10,000円（超過10頁）で掲載できます。

これが原稿用紙100枚分の作品だとしますと、約33頁程度になりますので、超過分を23頁と考えると、12,000円（同人の基本負担額）+23,000円=35,000円 程度となります。

※ **負担総額は、実際の割付により算定することになります。（上記は仮の計算です）**

2) 経費負担のことで言えば、発行が年に2回ですから、同人という身分にあれば、**年に12,000×2回=24,000円が最低限必要だ**ということになります。

※ 同人費の支払いは、月々にではなく、年2回の発行時（発行時期の目安→1月、7月）としています。（原稿締め切り日は、発行日の40日前とします）

3) 海の合評は、第一期の時代は「厳しいことで」知られていました。

第二期では、執筆者が全国に散らばっているため、合評会を開催することが出来ない状態にあり、平成24年12月以降は休会を余儀なくされています。

この状況に対応するため、海のHPに「交流掲示板」を置き、海同人専用の意見交換の場、交流連絡の場として活用しております。

4) 海の目標とするところについて

ア) 海は、文芸作品を発表する場であり、かつ、広く、遠くに運ぶ場である。

イ) 海は、文芸を志す者同士の交換の場であり、海の主人公は、同人個々である。

ウ) 海は、生涯にわたり、文芸にかかわっていくための場である。

エ) 海の同人は、自身の真摯な、やむにやまれぬ表現の発露として、小説、評論、詩、エッセイ等の文芸作品を創作し、発表する。

オ) 海には、編集に関することを行うため、編集担当者で構成する編集委員会を置き、編集委員会に発行責任者（編集長）を置く。

カ) 編集担当者は、第一に作者であり、併せて編集・発行の作業を行う。

キ) 海の同人は、定められた同人費を納入する。

ク) 海は、年2回の発行をめざす。

以上のことを何度となく繰り返してきましたが、再掲してみました。

これが、海の「憲法」です。この憲法をもって、1) 表現する、2) 発表する、3) 到達する、4) 生涯現役、5) 山を移す、という目標を掲げて活動しています。

同人の中には障害者の方もおられ、この発表を励みにしておられるようです。

同人各位は、それぞれが互いの素性を殆ど知りません。海誌上に掲載するのは、1) 作品を書くための名前（筆名で可）、2) 住所、3) 電話番号、4) メールアドレスのみです。

編集担当者も発行責任者も、一同人であり、編集・発行等の作業を、自らの作品の執筆を行っているながら、ボランティアとして種々の事務的なお世話をしています。

海として、優れた作品を推薦することはあっても、監督したり、干渉したりすることはいたしません。個人的な特別の付き合いは、懇親会等の場を除き、まずありません。

交流するのは、作品においてのみ、と言っても過言ではありません。

※ 気の置けない同人同士で種々意見交換をするということは、大いにあり得ることです。

5) 海で何が出来るか

随分不安になられるかもしれませんが、1) 個々が多方面の文芸作品等と向き合い、2) 個々が自分の文芸作品を生み出す、ということになります。

敢えて指導者を置いていませんので、3) 自らの作品に自らが責任を持つ、4) 自らの創意工夫によって自らと向かい合い、社会と対話することが出来る、ということでしょう。

社会からの反応は多くあり、「多くの批評、感想」に励まされるかたちで、同人各位の意識と意欲が号を追う毎に向上し、今は「有能な書き手を多く抱える」集団になってきたと考えています。実際、同人誌の中の著名な文学賞を受賞する同人が多く、お互いの励みになっています。

6) 冊子発行数及び用途について

同人には、現在2冊を送付することになっています。買い上げの義務もありません。

ところが、反対に「自作の掲載された冊子を多数ほしい」と申し出られる希望が相次いでいます。このために、印刷直前に各位の希望冊数を把握し、印刷に掛かることにしております。ただ、印刷終了後は「増刷ということが出来ませんので」、なおも必要な場合は、全国のどこかの書店からでも「注文していただく」という方法があるということで対応しています。

冊子の用途は、同人・図書館・メディア・同人誌等に配送することで、200冊近くを用いています。また、海のHPでは、当初からの個々の作品が読め、印刷も可としておりますので、こちらを有効に活用いただくという方法もあります。

4 文芸作品について

- 1) 詳細はHPに書いているとおりですが、ここで「文芸作品になる」ということは、エッセイや小説であれば「新聞記事レベルの文章によって作品が書け、自分が納得出来る」ということですので、それほど難しいものではありません。(それほど簡単なことでもありません。)

ともかく、経験を重ねながら、海の同人や、第三者であるマスコミ等の評者、読者のメガネにも耐え得る、ということを目指します。

(掲載の可否に疑義があれば、編集長「編集委員会」が判断します。)

下記(1)～(3)は、海HPに掲載している事項です。

- (1) 普通に日本語で理解できるように書かれていれば、特定の個人攻撃や、特定の政治や宗教等に偏ることなく、特別に公序良俗に反する等の内容のものでない限り、掲載される予定です。

- (2) したがって、同人費(10頁超過の場合の額を含む)を、割付終了確認後、所定の口座に振り込んでください。

- (3) 寄稿されない場合も、同人基本負担額を○月○日までに振り込み願います。

- 2) 以上のような要領・範囲・内容で、自由に作品を書き、発表し、社会に届け、社会からの反応を得ています。

- 3) 文芸は文章で表現するものですから、「文章作法」等について、継続した努力が必要です。

- 4) 純文学云々については、特に問うてはませんが、その傾向にはあるようです。

5 他の同人誌について

参考までに、知りうる範囲の情報を簡単に記します。

- 1) 文芸同人誌案内：で検索すると、たいへん親切で貴重なHPが閲覧出来、全国のかんりの同人誌の動向を知ることが出来ます。ここで、情報を得るという方法もありましょう。

- 2) 九州には、全国にも名の知れたK誌を中心とする有力誌が多くあります。

6 職業作家を目指す場合は

- 1) 純文学系であれば、文学界、群像、文藝、新潮、すばるなどの新人賞等を目指すのが、一番でしょう。これは、運と才があれば芥川賞方面に繋がる可能性もあります。

また、九州芸術祭文学賞を目指すのもよいかもしれません。これも、芥川賞系です。

- 2) 上記以外の新人賞等を目指すのもよいでしょう。こちらの多くは、運と才があれば直木賞方面に繋がる可能性もあります。

- 3) その他、「公募ガイド」等により調べるのも賢明な方法かもしれません。

- 4) 新人賞等の場合は、40歳あたりに年齢の上限があるようです。

- 5) 2013.4以降、同人誌の作品うち優れたものについては、日本文学振興会に推薦出来るようになりましたので、同人誌掲載作品を向上させるという方向が生まれました。

.....

以上、海についてを主にした総論を述べました。

その他、思い付いた事項を列記します。

7 海は、小説、評論、翻訳、エッセイ、詩の文芸作品を広く扱っています。

- 8 同人費にかかる経費ということでは、小説や評論を書かれる場合、海は恐らく安価な方ではなかろうか、と思います。ただし、詩などの韻文の場合は、この限りではありませんが。

※ 海では、経費負担を低く抑えるために、電子メールを使用することにより、諸連絡等を行うことを原則としています。

※ そのため、原稿の執筆に当たっては、Wordでの作成をお願いしています。

9 入会のことを判断するにあつては、同人誌の社会的認知度というものもあり、これには指導者が必要だとか、構成員に知り合いがいるとかいないとか、内容に好き嫌いがあるとか、それぞれに一長一短がありましょう。

- 1) 海では、新人もベテランも何の区別もありません。
- 2) 年に2回、(確実に) 作品を世に問うこととなります。
- 3) 他誌との重複在籍も、問題にいたしません。

10 海はこれらを、かなりの程度みだしているものと思っておりますが、御自身でよくよくお考えくださることをお勧めします。また、海は電子情報を持ちいることにより経費を安価に保ち、情報交換のスピード化ということを念頭に出発した経緯があります。

作品を電子情報にすることは必須と考えております。加えて、インターネットなどの扱いが出来る方の入会を望むものです。

11 入会を検討するため、海の冊子が入用であれば、お知らせください。

もともと、海のHPには冊子内容の殆どを公開していますので、それで一応のことはわかるようにしております。

12 さらに、海としては次のようなことも考えておりますので、御参照ください。

- 1) ペンを攻撃の手段にしない、ということをお勧めします。
- 2) 事実をそのままに書くことだけが、(私) 小説となるものではありません。
- 3) どこかの公募に出してみる、というぐらいの時間を置く方がよい場合もあります。
- 4) あくまで、文芸(文学) 作品を書く、というふうにご考慮いただくことを希望します。
- 5) 小説は小なる説を書く。つまり、話を創り、書くということにより成るものだと考えます。
- 6) 抱かれる諸々の念も、作品として昇華されたときに初めて普遍性を持ち、読者の同意を得ることになり得るのだと思います。

13 文章を一定のレベルで書くということのためには、文芸教室等で文章作法を一から学ぶ、という方向もあります。この方向は、遠いようでいて、文芸に触れる近道であるのかもしれませんが。

また、文学全集を読破するというぐらいの気構えが必要になりましょう。

広範囲のことに触れましたが、あくまでも、「海は文芸を愛し、文芸作品を書こうとする仲間を求めています。最初に書いた要件(2の『同人誌が成り立つ基本となるもの』の項)を満たし、「海の目標(「3の4」)」に同意いただける方には、是非積極的に入ってきていただき、海を存分に活用し、おおいに利用していただきたい」と考えています。

どうぞ、前向きに御検討くださるよう、お願いします。

お問い合わせを、お待ちしております。

(付記)

1) 入会を検討するために、海冊子を御希望であれば無料で送付いたします。

希望される場合や、その他海全般についてのお問い合わせは、メール等でお願ひします。

(宛先: umi+huk.bbq.jp) ……「+」は「@」に替えてください。

又は次の発行責任者あて

〒818-0101

太宰府市観世音寺1-15-33 松本方 有森信二

電話 092-922-8119

2) その他は、海HPを御覧ください。

海HPは、yahoo等の検索頁の「海第二期」で検索できます。

海の理念、第二期各号（公開）→全作品を見ることができます。

ニュース、原稿冊子作成要領、文章あらかると、お知らせ、編集時のあれこれ、Q&A、海入会希望者への説明等について、等を御確認ください。

- 3) 以上に賛同いただける場合、氏名（筆名で可）、住所、電話番号、文芸に関する略歴、作品として目指したいこと、簡単な作品（400字詰め5枚程度の作品をワードで作成）を、メールで（宛先：umi+huk.bbq.jp）あて送付ください。（アドレスの+は@に置き替えてください。）
- ◎ 海では、電子情報による情報の伝達を行っています。
 - ◎ 電子情報（Word処理、インターネット閲覧、メール送受信）を扱える方を、希望します。
 - ◎ 海同人との良好な協調関係を維持できる方を、望みます。

平成28（2016）年5月1日 有森信二